

## 日本学術会議報告(案)『農業経済学教育のあり方』への意見募集について

### 第24期日本学術会議・農業経済学分科会

日本学術会議・農業経済学分科会では、今後の農業経済学教育の課題やあるべき姿をめぐり、『農業経済学教育のあり方』を作成いたしました。これは日本学術会議の所定の審議を経て、最終的には日本学術会議報告として、社会や学界に発出することを予定しております。したがって、日本農業経済学会やその関係者にとっても重要な文書となると思われます。

そのため日本農業経済学会では、昨年(2017年)の千葉大大会でミニシンポ「農業経済学教育のあり方を考えるー日本学術会議報告案をめぐってー」の場を設け、作成途中の文書案を議論しましたが、今回、完成した文書をさらに会員の皆様に周知させていただくと同時に、この報告案について、御意見・御提案を募集したいと思っております。

なお、本報告案は、この意見募集(パブリックコメント)により適切な修正を行うほか、日本学術会議の査読等のプロセスを経て、さらに修文される可能性があることをご了承下さい。

### 記

#### 1 意見公募期間

2018年3月1日から2018年3月31日まで

#### 2 資料の入手方法

意見公募対象となる報告案は本ホームページに掲載しています。

#### 3 意見の提出先

日本学術会議・農業経済分科会

※便宜的に分科会を代表として小田切徳美(明治大学)が、メールまたはFAXで受け付けます。

提出先メール odagiri@meiji.ac.jp

提出先FAX 044-934-7128

#### 4 意見の提出上の注意

お寄せいただいた意見について、個別の回答ができないケースもあり得ます。また、意見は、個人又は団体の名称や属性に関する情報を除き、公表させていただくことがありますので、あらかじめ御了承願います。

以上

<参考> 本報告案の作成を担当した第23期日本学術会議農業経済分科会のメンバーについては、報告案をご覧ください